

妖怪大戦争



GAMERA THE GREATEST 大怪獣ガメラ

- 出身地 北極海
- 年齢 満8千歳以上
- 身長 60メートル
- 体重 80トン
- 速力 空中一マッハ3(ジェット戦闘機の3倍のスピード)
海中一150ノット(原子力潜水艦の6倍)
陸上一步幅20メートル(人間大人の40倍)
- 性質 凶暴性大にして、空腹時にはとくに攻撃的になる。
但し幼少年に対しては親愛の情を示すことがある。
- 好物 石油、石炭、地熱等の炎。ミサイル、原爆は大好き。



■面白さは歴史的！これぞ娯楽の原点だ！

いま、なぜか日本中が復活ブーム、懐シネマブーム、そして怪獣ブームである。TV、雑誌などの広告、出版物、オモチャなどで、かつて一世を風靡した懐しの人気キャラクターや怪獣がもてはやされている。

その中でも人気を二分しているのが「大魔神」と「ガメラ」だが、ガメラがスクリーンに登場したのは昭和40年11月。今から20年近くも前であった。

炎をエネルギーとして口から火を吐き、宙を飛ぶガメラは当時、子どもたちのアイドルとして、また大人にとっても特撮映画の面白さから人気を呼び、昭和55年までの間に全8本が作られた。

ガメラに対する凶悪怪獣も次々にかわり、例えば大コウモリのようなギャオスとか、冷凍怪獣バルゴン、手裏剣をとばす悪役ギロンなど、とにかくどの作品も2大怪獣がとことろせまるとあばれまくって対決するという、見せ物的面白さに徹した娯楽作品である。

そして、東京、名古屋、大阪など日本中を舞台としての大決闘、そのぶつ壊しの痛快さ、ダムや崩壊や東京タワーの破壊、富士山の大爆発など、とにかくふんだんに使われた特撮シーンは、まさに歴史に残る娯楽映画といえる。少年時代に熱中した人も、まだ見たことのない人も、この娯楽映画の原点ともいへべき怪獣映画を、楽しんでおおう！

日本と西洋のお化けの痛快戦争(前編)!

油すまし、二面女、から傘、ろくろ首、ぬつべつぼう、河童、ひょうすべ、ぬらりひょん……と、おなじみの日本妖怪総出演のメチャッコおもしろお化け映画である。怖さとユーモアのマッチした日本のお化けと西洋の妖怪が繰り広げる秘術を尽くしての攻防は、まさに痛快特撮映画ならではの醍醐味。



江戸の昔、バビロニアの遺跡からよみがえった吸血妖怪ダイモンが平和な日本に襲来、代官に乗り移り、日本をわがものにしようとした。だが、いち早くこれに気づいた日本の妖怪たちが全国各地から集まり、ダイモンに戦いをいどむ。かくて西洋と日本のお化けの大戦争が始まった…。

▲京浜工業地帯を襲う大怪獣ガメラ

タイトル	公開日	対決場所・舞台
大怪獣ガメラ	昭和40年11月27日	東京・京浜地区が舞台
大怪獣決闘ガメラ対バルゴン	41年4月17日	神戸→大阪→琵琶湖
大怪獣空中戦ガメラ対ギャオス	42年3月15日	伊勢湾→名古屋→富士山火口
ガメラ対宇宙怪獣バイラス	43年3月20日	茅ヶ崎海岸→成層圏
ガメラ対大悪獣ギロン	44年3月12日	第10惑星
ガメラ対大魔獣ジャイガー	45年3月21日	ウェスター島→大阪万博会場
ガメラ対深海怪獣ジグラ	46年7月17日	日本海溝→鴨川シーワールド
宇宙怪獣ガメラ(ガメラ総集編)	55年3月21日	宇宙

大怪獣ガメラ／妖怪大戦争 保存版ガメラ全8作の 前売券発売中 縮刷ポスター・シートつき

7月14日(土) → 8月3日(金) 1000円 (大人1300円、当日・高1200円の処、中学1100円) ●お求めは劇場窓口及びプレイガイドで

伊勢丹斜め向い・新宿東映会館2F (351) 3022 新宿映 ホール1

栄町商店街通り・千葉東映会館内 0472 (22) 8040 千葉東映シネマ

*ガメラ全作品一挙上映！ 特撮映画スペシャル《ガメラVS.怪獣大集合》のお知らせ！

●ガメラの全作品が見られる2度とないチャンスです！ (上映スケジュール)

7月14日(土)より 8月31日(金)迄

■4本分の料金で5本(ホール1の利用も可)ご覧になれるおトクな 特別セット券2800円発売中 (5枚つづり)

●通常の前売券700円も発売しております。いずれもガメラ全8作縮刷ポスター・シートつき！ (お求めは劇場窓口及びプレイガイドで)

伊勢丹斜め向い・新宿東映会館2F (351) 3060 新宿映 ホール2